

## 【熊本S. J. C. D. 例会 抄録】

### 演 題 複数歯欠損を伴う歯列に対し、咬合と審美の改善を目指した症例

演者名 宮崎 康弘

日 付 2018年1月23日

keywords

1. プロビジョナルレストレーション
2. オールセラミック
3. インプラント

#### 抄 録

カリエスによる複数歯欠損により咬合崩壊を来しつつある歯列に対して、下顎臼歯部にインプラントを用い、咬合の安定と、前歯部の審美的改善を行うことを目指した一症例を発表させていただきます。

患者は33歳女性で、他院での根管治療途中の右上6、7番の疼痛を主訴に来院された。

痛みの消失後、咀嚼障害と前歯部の審美的改善を訴えられ、全顎的治療となった。歯周基本治療後、保存不能の右下7番の抜歯を行った。顎位診査を行い診断用ワックスアップに基づいて、インプラント埋入を左右下顎臼歯部に3本行った。臼歯部の咬合を確立した後、保存不能の右上2番を抜歯した。再度顎位診査を行ったのち、プロビジョナルレストレーションを装着し経過観察後、最終補綴へと移行した。

諸先生方のご指導、ご教示を頂ければ幸いです。